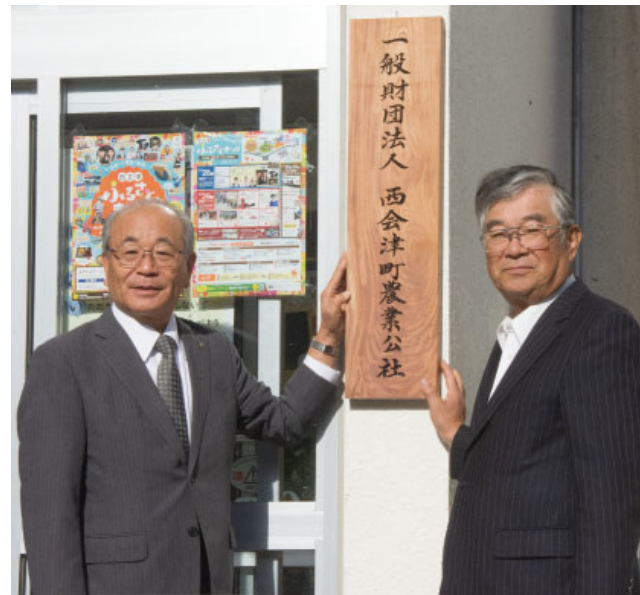


(一財)西会津町農業公社が本格スタート！ 業務開始式&設立記念式典

10月2日、一般財団法人西会津町農業公社の業務開始式が新郷連絡所で行われました。式では、薄町長と一般財団法人西会津町農業公社の長谷沼清吉理事長が社名看板を掲出し、業務開始にあたりあいさつを述べました。

10月21日には設立記念式典が野沢体育館で行われ、町長が「農業の持続的な発展は持続可能なまちづくりを推進する上で大前提となる。地域の農家の皆さんが安心して農業に取り組める環境を支援していきます」とあいさつしました。式の第2部では、東北農政局農村振興部農村計画課の田村敏明課長補佐を講師に「中山間地域の現状と東北地域の農業」をテーマとした講演会が行われました。



▲社名看板を掲げる薄町長（写真左）と長谷沼理事長（写真右）



▲田村氏による講演会



▲設立記念式典であいさつを述べる長谷沼理事長



第11回大山祇神社 秋の例祭 紅葉ウォーキング

10月21日、中野区むらおこし実行委員会の主催で第11回大山祇神社 秋の例祭紅葉ウォーキングが開催されました。参加者は光盛館前（大久保）～大山杉並木参道～大山祇神社御本社まで約4kmのコースを歩き、色づき始めた木々を眺めながらウォーキングを楽しみました。

大山祇神社御本社では、西会津大山さゆり太鼓による演奏が行われ、参加者を出迎えました。



豊かな自然環境の推進に向けて 第13回会津耶麻地方植樹祭

10月17日、第13回会津耶麻地方植樹祭が西会津富士の郷の花見山（小清水）で開催されました。

町からは薄町長、伊藤一男町議会議長、五十嵐正彦教育長、西会津小学校の菅家由紀子校長と緑の少年団の児童が参加しました。この日は、耶麻管内の緑の少年団に所属する小学生や林業関係者が参加し、ハナモモ、サラサドウダンツツジの苗木を植樹しました。

植樹作業後、代表者らで記念標柱を設置し、森林環境整備の大切さを実感していました。



出ヶ原地区の歴史・伝統文化を学ぶ 西高生が和紙作りを体験

10月25日、出ヶ原和紙工房で滝澤徹也さんの指導のもと、西高生が和紙漉き体験活動を行いました。

また、出ヶ原地区の歴史と伝統文化を学ぶために、円満寺観音堂を見学したり、地域の皆さんから出ヶ原に伝わる伝説を聞いたりしました。生徒たちは「苦勞してできた和紙を使った卒業証書を受け取ることが楽しみ」と感想を述べました。

この活動は地域連携活動の一環として10月中に3回行われ、楮の収穫から和紙漉きまで、和紙作りの全ての工程を体験しました。

